

2025年3月9日（大齋節第1主日、C年）

牧師メッセージ

「あなたのため」

（ルカによる福音書4:1-13）

司祭ヨセフ太田信三

霊は主イエスを荒れ野に導きました。イエスは荒れ野で独り神と向かい合いますが、それは同時に悪魔と向き合うことでした。イエスが悪魔から受けた誘惑は、私たちの日常における悪魔からの語りかけをそのまま表しています。荒れ野はどこか遠いところなのではありません。私たちの日常にあるのです。食べ物を好きなだけ得られる力、世界を自由にできる力、誰よりも財力と権力を得ること…。誰もが大なり小なりそのことに心奪われていることに思い当たるはず。悪魔の誘惑は、私たちの日常の隅々に及んでいるのです。

悪魔はイエスの弱みに付け込もうと、おだて、利益を餌にして、イエスを神から引き離そうとします。そして、自分を拝もうとさせます。悪魔は決して力づくでそれをしようとはしません。あたかも「神の意思にも叶う」「正しい」と思わせて、納得させて自分のところへ引きずり込もうとします。悪魔は相手の弱みをよく知っています。悪魔は、「あなたのために」という一貫した姿勢で誘惑してきます。「あなたが神の子ならそれができる」「あなたが願えば天使があなたを支える」「あなたにすべてを与えよう」…すべて、「あなた」と呼びかけます。それは、人間が「わたし」のことだけを考えてしまうことを、悪魔は知り尽くしているからです。「あなた、あなた、あなた」とつぶやき続ける悪魔の声に惑わされてしまうのは、「私のことだけ」を考えてしまう人間の弱さゆえです。

しかし、悪魔の「あなたのため」が本当に「あなたのため」になることかという点でまったく違います。実際、私たちの世界は今、悪魔による「あなたのため」という誘惑に負け、戦争が次々に起こる現実を目の当たりにしています。食料、権力、あらゆる力を「私のためだけ」に独占しようとするからこそ、戦争も、貧困も、抑圧され暴力のもとに生きざるを得ない命もなくならないのです。今の世界は、まさに悪魔の思うつぼです。

まことの導き主なるイエスは、荒れ野においてこの誘惑に打ち勝ち、わたしたちが信じ、聞くべき言葉を示してくださっています。大齋節第一主日、主イエスが荒れ野において、神の言葉と悪魔の言葉に向き合われたように、「私たちは日々、神の言葉、悪魔の言葉、どちらに従っているだろうか」と、自らを省みましょう。